

第8回エルトゥールル号事件追悼記念式典

(2017年4月8日(土) 於：NGBB 植物園)

4月8日、建設業大手 TEKFEN 社を母体とするアリ・ニハット・ギョクイート(ANG) 財団が運営するネザハット・ギョクイート植物園(NGBB)内のエルトゥールル号記念区域において、第8回目を迎える「エルトゥールル号事件追悼記念式典」が行われました。

今年は、エルトゥールル号遭難事件から127年目にあたり、式典の会場であるネザハット・ギョクイート植物園が開園してから22年となりました。

式典冒頭には、イスタンブール在住の日本人の方々により結成された琴グループ「君府・芙蓉の会」により日本とトルコの歌曲が演奏され、黙禱、両国の国歌吹奏、ギョクイート ANG 財団会長の開会の辞、笹谷総領事代理の挨拶が行われました。

続いてトルコ海軍管弦楽団の演奏が行われ、楽団の歌手により「さくら」、「いい日旅立ち」などの日本の歌が、見事な日本語で披露されました。

この式典は、例年、エルトゥールル号事件の犠牲者を追悼するために植樹された桜の花の開花時期に合わせて行われています。今年は少し肌寒い中での式典開催でしたが、同植物園の桜は、10日ほど前から開花が始まっており、見ごろの桜に加え葉桜も見られ、日本の春が感じられる行事となりました。



琴による日本とトルコの歌曲の演奏



開会の挨拶をするアリ・ニハット・ギョクイート会長



挨拶をする笹谷総領事代理



式典の後、植物園を散策する参加者